

秘 書 課

○ 表彰関係

市の発展又は公共の福祉の増進に貢献した方、広く市民の模範となる行為をした方を11月3日に伊勢市表彰条例に基づき第13回の表彰を次のとおり行った。

1 伊勢市民功労賞

- ・多年地区自治会長として地域住民の福祉の増進に寄与された（1名）
- ・多年民生委員・児童委員として社会福祉の向上に寄与された（2名）
- ・多年消防団活動に献身的に尽力された（4名）
- ・子どもたちが英語絵本に親しむ環境づくりのため多額の御寄贈をされた（1名）
- ・伊勢市新病院整備基金へ多額の御寄附をされた（2名・6団体）

2 伊勢市民文化賞

- ・第38回全国高等学校IT・簿記選手権大会IT部門個人の部で優秀な成績を収めた（1名）
- ・第38回全国高等学校IT・簿記選手権大会IT部門団体の部で優秀な成績を収めた（1団体）
- ・多年第九コンサートを開催し、市民へ本格的な音楽の普及及び地域の音楽文化の向上に寄与された（1団体）
- ・多年市民への吹奏楽の普及及び地域の音楽文化の向上に寄与された（1団体）

3 伊勢市民スポーツ賞

- ・第46回全国高等学校選抜バドミントン大会男子ダブルス及び男子団体並びに高松宮記念杯第69回全国高等学校バドミントン選手権大会男子ダブルス及び男子団体で優秀な成績を収めた（1名）
- ・第102回日本陸上競技選手権大会女子100メートル、第66回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会女子100メートル及び第73回国民体育大会陸上競技成年女子100メートルで優秀な成績を収めた（1名）
- ・多年美し国三重市町対抗駅伝伊勢市代表選手として伊勢市のスポーツ振興に寄与された（2名）
- ・バドミントンマレーシアマスタース2018男子シングルス準優勝並びに第18回アジア競技大会バドミントン競技男子シングルス及び男子団体で銅メダルを獲得され優秀な成績を収めた（1名）

○ 栄典に係る推薦事務

憲法第7条第7号に基づく栄典の授与に関する推薦事務を行い、次のとおり決定を受けた。

- ・旭日単光章 元村議会議員（地方自治功労）
- ・旭日小綬章 元市議会議員（地方自治功労）
- ・旭日単光章 元町議会議員（地方自治功労）
- ・旭日単光章 元町長（地方自治功労）

○ 市長会関係

全国、東海及び三重県の各市間の連絡協調を図り、市政の円滑な運営と進展に資し、地方自治の興隆繁栄に寄与するため、次のとおり市長会に出席した。

1 全国市長会

開催年月日	会議名（主な議題）	開催地
30. 4. 11	全国市長会理事会 ① 諸会議の開催状況等について	東京都 千代田区
30. 6. 6	第88回全国市長会議通常総会 ① 会務報告 ② 平成28年度全国市長会決算報告について ③ 平成30年度全国市長会予算承認について ④ 各支部提出議案審議経過及び結果報告について ⑤ 決議案等審議 ⑥ 役員改選	東京都 千代田区
30. 11. 14	全国市長会行政委員会 ① 平成31年度国の施策及び予算に関する提言等	東京都 千代田区
31. 1. 23	全国市長会防災対策特別委員会 ① 被災地方公共団体に対する応援職員の派遣について等	東京都 千代田区

2 東海市長会

開催年月日	会議名（主な議題）	開催地
30. 5. 16	第126回東海市長会役員会 ① 平成29年度東海市長会会務報告について ② 平成29年度東海市長会歳入歳出決算の認定について ③ 平成30年度東海市長会歳入歳出予算について ④ 第126回東海市長会通常総会の日程について ⑤ 総会の議事運営について	愛知県 豊橋市
30. 10. 18	第127回東海市長会役員会 ① 第127回東海市長会通常総会の日程について ② 総会の議事運営について	三重県 桑名市
30. 10. 19	第127回東海市長会通常総会 ① 提出議案の審議 ② 決議案の審議	三重県 桑名市

3 三重県市長会

開催年月日	会 議 名 (主な議題)	開催地
30. 5. 8	三重県市長会5月定例会議 ① 平成30年度三重県市長会役員等の選任について ② 全国市長会会長立候補予定者について ③ 東海市長会三重県市長会提出議案等について ④ 会務報告について	津 市
30. 8. 3	三重県市長会8月定例会議 ① 平成29年度三重県市長会歳入歳出決算について ② 平成29年度三重県軽自動車税等事務共同処理協議会歳入歳出決算について ③ 要保護児童対策地域協議会を通じた児童虐待情報の共有促進について ④ 平成31年度に向けた三重県への要望について ⑤ 第127回東海市長会通常総会要望について ⑥ 第127回東海市長会通常総会の開催日程について ⑦ 各団体からの市長会への要望等について (男女平等社会実現を求める要請書について、平和行政推進に関する要請書について、東日本大震災被災地への職員派遣の御礼とお願いについて、原爆死没者慰霊並びに平和祈念の黙とうについて) ⑧ 市長会の会務報告について	津 市
30. 10. 26	三重県市長会10月定例会議 ① 平成31年度三重県市長会歳入歳出予算について ② 平成31年度三重県軽自動車税等事務共同処理協議会歳入歳出予算について ③ 三重県市町村共済組合会議員の選挙について ④ 緊急支援体制の構築について ⑤ 市長会の会務報告について ⑥ 各団体からの市長会への要望等について	津 市

<p>31. 1. 28</p>	<p>三重県市長会1月定例会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 三重県軽自動車税等事務共同処理協議会業務委託契約について ② 三重県市長会規約の改正について ③ 平成31年度市長会役員等の選任について ④ 三重県市町総合事務組合の副管理者の推薦について ⑤ 第128回東海市長会提出議案の取扱いについて ⑥ 三重県市長会会務報告について 	<p>桑名市</p>
------------------	---	------------

情報政策課

○ 調査統計関係

1 市民アンケートの実施

市民の意識や日常生活における活動等を把握し、今後の市政に反映させるための基礎資料を得ることを目的として、市民アンケートを実施した。

実施期間	調査対象等	調査項目	回答結果
30. 9. 12 ～30. 10. 2	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象 平成15年4月1日以前にお生まれの方（平成30年度中に16歳以上となる方） 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出により3,500人を抽出 調査方法 郵送による送付回収 	<ul style="list-style-type: none"> ①市民自治、国際交流、男女共同参画、人権 ②生活の中での困りごと、児童虐待、ドメスティック・バイオレンス、障がい者差別の解消、高齢者の福祉 ③運動、スポーツ、国民体育大会 ④ごみの分別と食品ロス ⑤防災、防犯、消防、救急 ⑥商業、消費生活 ⑦交通環境、公園、道路、中心市街地 ⑧市職員、広報活動 ⑨まちづくり、伊勢市の住みやすさ ⑩取組み全体について 	回答者数 1,555人 回答率 44.4%

2 オープンデータの推進

「オープンデータ」とは、行政の透明性・信頼性の向上、市民と行政の協働促進及び地域経済の活性化を目的として、市が保有するデータを二次利用可能なルールのもとで公開する取組で、平成28年12月12日に『伊勢市オープンデータの推進に関する指針』を策定、平成29年3月28日に『伊勢市オープンデータライブラリ』を公開し、平成30年度はデータの充実と利活用の推進に取り組んだ。

(1) 伊勢市オープンデータライブラリ

ア 新規登録データ項目 6項目

- ・風景写真 平成30年4月公開
- ・国籍別人口統計表 平成30年5月公開
- ・おかげバス停留所 平成30年6月公開
- ・ごみ分別一覧表 平成30年7月公開
- ・広報いせ 平成30年7月公開
- ・伊勢市統計データベース 平成30年9月公開

イ 登録データ件数 27項目 516件（平成31年3月31日現在）

ウ オープンデータを利活用したアプリ等 新規 4件（平成31年3月31日現在 6件）

オープンデータを利活用して宇治山田商業高校等がスマートフォンアプリ等を公開した。

アプリ・サイト名	内 容	利 活 用 者	運 用 開 始
ごみ出し 5374.jp (伊勢市版)	お住まいの地区を選択することで、ごみの分類別の収集日を確認できるアプリ	宇治山田商業 高校	平成30年7月
マイ広報紙	自治体等が発行する広報紙を記事ごとにデータ化し、インターネットで無料配信するサービス	民間事業者	平成30年9月
防災アプリ 安心みえた	最寄りの避難所の情報や避難の方向をナビゲーションして誘導するアプリ	宇治山田商業 高校、名古屋工 学院専門学校	平成31年1月
5374クイズ	小学生を対象としたごみ分別のクイズアプリ	宇治山田商業 高校、名古屋工 学院専門学校	平成31年1月

(2) 宇治山田商業高校情報処理科の利活用事例

宇治山田商業高校と連携したオープンデータ利活用の取組として、同校情報処理科2年生及び3年生が商業科目「ビジネス情報管理」の中で、オープンデータの活用に加え、広く自分たちで収集した情報をもとに地域活性化について学習し、観光誘客や防災のためのサイトやスマートフォンアプリの制作等に取り組んだ学習成果を市長に報告した。

- ・平成31年1月10日 市長への学習成果の報告会

3 工業統計調査

(調査周期：毎年、但し経済センサス-活動調査実施年の前年を除く。所管省庁：経済産業省)

我が国における工業の実態を明らかにし、その生産活動に関する基礎資料を得ることを目的として、日本標準産業分類に掲げる大分類E（製造業）に属する事業所のうち、従業員数が4人以上の事業所に対して調査を実施した。

- ・調査期日 平成30年6月1日
- ・調査対象事業所 239事業所

4 漁業センサス（調査周期：5年 所管省庁：農林水産省）

我が国の水産行政に必要な漁業に関する基礎資料を整備することを目的として、漁業を営む世帯又は事業所に対して調査を実施した。

(1) 客体把握調査

- ・調査期日 平成30年8月1日
- ・調査対象 183客体

(2) 実態調査

- ・調査期日 平成30年11月1日
- ・調査対象 80客体

5 住宅・土地統計調査（調査周期：5年 所管省庁：総務省）

住宅及び住宅以外で人が居住する建物に関する実態並びに現住居以外の住宅及び土地の保有状況の実態等を明らかにし、住生活関連諸施策の基礎資料を得ることを目的として、国から指定された調査区の世帯に対して調査を実施した。

- ・設定期日 平成 30 年 10 月 1 日
- ・調査対象 3,140 世帯

6 三重県人口推計調査（調査周期：毎月 所管：三重県）

国勢調査による人口、男女数及び世帯数を基準に、住民基本台帳における異動を加減して、毎月の人口を推計した。

平成 31 年 3 月 1 日現在

総人口	男	女	世帯数
124,280 人	58,796 人	65,484 人	51,618 世帯

7 学校基本調査（調査周期：毎年 所管省庁：文部科学省）

学校教育行政上の基礎資料を得るため、平成 30 年 5 月 1 日現在における、市内の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小・中学校等の児童・生徒数、教職員等を調査した。

なお、中学校については卒業後の進路を、私立学校については学校施設等を併せて調査した。

調査対象	公私立別	園・学校数	園児・児童・生徒数	教員数	
				本務者	兼務者
幼稚園	公立	園・校 9	人 212	人 17	人 -
	私立	8	513	72	10
幼保連携型 認定こども園	公立	1	95	20	4
	私立	5	909	112	23
小学校	公立	23	6,381	436	76
中学校	公立	11	3,220	247	36
	私立	1	110	17	12
計		58	11,440	921	161

8 市勢統計要覧の作成

伊勢市の自然、人口、産業、民生、建設、教育等の基本的統計データを収録した「2018 年（平成 30 年）版市勢統計要覧」を作成した。

また、e-Stat（政府統計の総合窓口）、みえ DataBox（三重県所管の統計情報）からデータを収集し、市ホームページで公開している伊勢市統計データベースを更新した。

9 各種統計調査結果の情報発信

市が保有する統計調査結果について、市民にわかりやすく情報発信するため、データの整理とグラフ化を行い、解説を加えた統計レポートを 3 回発行した。

- ・伊勢市の農業について
- ・平成 27 年国勢調査の従業地・通学地による伊勢市の人口について
- ・経済センサス-活動調査結果について

10 統計調査員の推薦

各種統計調査を実施するにあたり、三重県に対して調査員の推薦を行った。

- ・労働力調査 5 名
- ・毎月勤労統計調査 3 名

- ・商業動態統計調査 2名
- ・国民生活基礎調査 7名

11 統計調査員の確保対策

国が実施する統計調査に際して、統計調査員、指導員の選任が困難になっている現状を改善するため、あらかじめ希望者を登録し、統計調査員を確保することを目的として、広報いせ、市ホームページ等で募集を行った。

- ・平成30年度登録者数 11名（平成31年3月31日現在 303名）

○ ICT活用推進関係

1 ICT活用推進ワーキング

人口減少・少子高齢化が進む一方、多様化・高度化する市民サービスへの対応が求められる中、市の事務事業において有効にICT（情報通信技術）を活用推進することで、市民サービスの向上と業務の効率化を図るため、ワーキンググループを設置した。

- ・構成 係長級職員 8名
- ・活動内容 ICT展示会への視察及びICT関連業者との意見交換を行うとともに、LINE等のSNSやチャットボットの活用、AI・RPAを活用した事務の効率化、タブレット・電子申請を活用した申請手続きの簡素化等について、先進事例を調査研究しながら導入についての検討を行った。

2 ICT活用推進研修

行政分野でのICT活用推進について、国の動向及び地方自治体のあり方を学ぶため、職員研修を開催した。

- ・日時 平成31年1月9日（水）14時30分～
- ・講師 内閣官房 情報通信技術（IT）総合戦略室 企画官 浦上 哲朗 氏
- ・テーマ 「官民データの活用で、伊勢市の未来を切り拓こう！」
- ・参加者 市長、副市長、部長級職員、ICT活用推進ワーキングメンバー 等 49人

企 画 調 整 課

1 第3次伊勢市総合計画

本市のまちづくりの基本理念を明らかにするとともに、その理念に基づく市政運営のあり方を示すものとして、第3次伊勢市総合計画基本構想・前期基本計画を平成30年7月11日に策定し、進行管理を行った。

(1) 総合計画審議会の開催

第3次伊勢市総合計画を策定するに当たり、伊勢市総合計画条例に基づき、学識経験者、公共的団体等の代表者、関係行政機関の職員15名で構成する伊勢市総合計画審議会に諮問し、平成29年度には9回、平成30年度には2回の審議を重ね、平成30年6月1日に答申を受けた。

また、進行管理についても、伊勢市総合計画審議会に諮問し、平成30年度に2回の審議を重ね、平成30年11月30日に答申を受けた。

・開催状況

開催日	内容	場所
【第1回】30. 5. 15	・答申（案）について	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢4階大会議室
【第2回】30. 5. 21	・答申（案）について	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢4階大会議室
【第3回】30. 10. 23	・第3次総合計画の進行管理について	伊勢市役所本館 地下会議室
【第4回】30. 11. 2	・第3次総合計画の進行管理について	伊勢市生涯学習センター いせトピア3階研修室

(2) パブリック・コメント（政策意見提出制度）の実施

対 象：第3次伊勢市総合計画基本構想・前期基本計画（案）

対 象 者：伊勢市内に在住、通勤又は通学している人など

募集期間：平成30年4月2日～5月1日

意見者数：76名（意見数：108件）

(3) 地域審議会の開催

総合計画の基本構想を変更するに当たり、地域審議会を設置することに関する協議第3条第1項第4号の規定に基づき、地域審議会に諮問し、答申を受けた。

	諮 問	答 申
伊勢地区地域審議会	平成30年5月 2日	平成30年5月15日
二見地区地域審議会	平成30年4月26日	平成30年5月 2日
小俣地区地域審議会	平成30年4月20日	平成30年5月 1日
御薊地区地域審議会	平成30年4月24日	平成30年5月 7日

2 伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理

まち・ひと・しごと創生法に基づき、「伊勢市人口ビジョン」を踏まえて策定した「伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進行管理を行うため、産官学金労言の各分野15名の関係者で構成される伊勢市まち・ひと・しごと創生会議において、取組の進捗状況の確認及び市の現状について意見交換等を実施した。

【伊勢市まち・ひと・しごと創生会議】

- (1) 委員 ・構成 : 15名
・任期 : 平成30年6月28日～令和2年6月27日

(2) 開催状況

開催日	内容	場所
30.11.20	・諮問 ・伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4階 大会議室
30.12.5	・答申	—

3 シティプロモーション

本市が市民及び国内外の人々から選ばれる自治体となるよう、平成28年2月に策定した「伊勢市シティプロモーション推進計画」に従い、市の地域資源・魅力の認知度向上を目指す各種取組を行った。

(1) 移住希望者向け体験プログラムの作成と実施

伊勢市中心市街地活性化協議会、伊勢商工会議所、伊勢まちづくり株式会社、伊勢市産業支援センター及び市内関係各課と連携し、伊勢市に移住を希望する方向けの体験プログラムを作成、これを実施した。

【いせ起業体感ツアー】

開催日時：平成30年11月23日（金）10：30～18：00

開催内容：伊勢の商環境、伊勢の歴史と文化、伊勢の食の魅力、伊勢の起業支援、伊勢で実際の起業について、市内各所を巡ってもらい体感してもらった。

参加者数：4名

(2) 伊勢市情報発信番組制作・放送

三重テレビ放送株式会社に委託し、同社の制作する地上波テレビジョン放送番組「とっってもワクドキ！」内のコーナー枠「旬感☆みえ」において、市の各種施策やイベントなど、市に関する様々な情報を放映することにより、市外在住者の観光等の誘発、市民アイデンティティの向上及びシビックプライドの醸成を図った。

第1回 7月9日 市立図書館の取組と皇學館大学との連携

第2回 10月29日 中心市街地活性化の取組と起業支援

第3回 3月11日 伊勢市の交通政策と伊勢市の文化振興策

※いずれも夕方6時から30分程度の放送、翌朝に再放送

(3) 伊勢志摩版図柄入りナンバープレート導入に向けた取組

シティセールスの取組の一つとして、伊勢志摩ご当地ナンバー及び図柄入りナンバープレートの導入に県及び関係市町(鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・南伊勢町・明和町)とともに取り組み、7月1日～8月31日まで図柄の公募を実施し、443点の応募があった。その中から、最終候補作6点を決定し、インターネットによる人気投票の結果も参考に、1点を最終図柄案として国に提出した。

(4) 伊勢市魅力発信動画の制作

皇學館大学と連携し、大学生ディレクターに企画から撮影、編集まで全てを担当してもらい、そのアイデアに基づいて、文化振興課が取り組む「伊勢まるごと博物館」への登録スポット3か所(伊勢シーパラダイス・賓日館・伊勢河崎商人館)と朝熊山山頂広場の「天空のポスト」をデート風に大学生の視点で紹介する動画「君と伊勢デート」を作成した。

4 定住自立圏構想

定住自立圏構想推進要綱に基づき、本市を中心市として、生活圏や経済圏を共にする鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町・明和町の3市5町で形成する伊勢志摩定住自立圏について、圏域の関係者17名で構成される懇談会における協議等を経て、圏域が目指す将来像及びその実現のために必要な具体的取組等を明らかにする「伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン」の変更及び進行管理を行った。

また、共生ビジョンの計画期間が平成30年度で終了となるが、引き続き圏域の課題に対応していくため、「第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン」の策定について、ビジョン懇談会及び圏域市町の首長を構成員とする伊勢志摩定住自立圏推進協議会等において協議を行った。

【伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会】

- (1) 委員 ・ 構成 : 17名
・ 任期 : 平成29年4月1日～平成31年3月31日

(2) 開催状況

開催日	内 容	場 所
【第1回】 30. 5. 23	・ 伊勢志摩定住自立圏の推進体制について ・ 伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンの第5回変更(案)について ・ 第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンの策定について ・ 圏域の現状と課題について	シンフォニアテクノロジー響ホール 伊勢4階大会議室
【第2回】 30. 8. 29	・ 第1次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンの現時点における総括について ・ 諮問 ・ 第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン(案)について	シンフォニアテクノロジー響ホール 伊勢4階大会議室
【第3回】 30. 10. 15	・ 第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン(案)前回の修正について ・ 新規取組(案)について	シンフォニアテクノロジー響ホール 伊勢4階大会議室

【第4回】 31. 1. 21	・「第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン(案)」におけるパブリックコメント結果について ・新規取組(案)について	伊勢商工会議所 5階大ホール
31. 1. 25	・答申	—

【伊勢志摩定住自立圏推進協議会】

(1) 委員 ・ 構成 : 各市町長 8 名

(2) 開催状況

開催日	内 容	場 所
30. 10. 30	・第1次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンの現時点における総括について ・第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン(案)について ・定住自立圏形成協定の項目の追加について ・伊勢志摩定住自立圏の情報交換及び提案	三重県伊勢庁舎 4階 402 会議室

5 伊勢市ふるさと応援寄附金

平成20年7月4日から「伊勢市ふるさと応援寄附金」制度を導入し、本年度も引き続き寄附の受入れを行った。

- ・受領件数 : 2,016 件
- ・受領金額 : 64,807,731 円
- ・受領した寄附の目的別内訳

事業区分(活用先)	件数	金額
命を最優先に考えるまちづくり	506	18,848,500 円
やさしさと感謝の気持ちを継承するまちづくり	157	5,089,491
豊かさを実感できるまちづくり	131	3,762,300
市民がまちに誇りを持ち、観光と市民生活が調和したまちづくり	225	6,011,000
市立伊勢総合病院の充実	132	4,302,000
育英基金	184	6,974,000
市政全般(特に指定しない)	425	18,236,150
GCF(宮川堤の桜を守り育てていきたい!)※	247	1,286,500
具体的に用途を指定したい方	9	297,790
計	2,016	64,807,731

※GCF(ガバメントクラウドファンディング)は、自治体が行うクラウドファンディングで、自治体の掲げる課題解決のテーマを応援するために、寄附をする仕組みである。

6 伊勢地区地域審議会

市町村の合併の特例に関する法律の規定に基づき、合併前の旧4市町村の協議により旧市町村の区域を単位として設置が定められた地域審議会のうち、旧伊勢市の区域に係る伊勢地区地域審議会を次のとおり開催した。

【伊勢地区地域審議会】

- (1) 委員 ・ 構成 : 18名 (うち公募委員3名)
 ・ 任期 : 平成30年4月1日～令和2年3月31日

(2) 開催状況

開催日	内 容	場 所
30. 5. 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 辞令交付 ・ 委員自己紹介、事務局紹介 ・ 正副会長の選出 ・ 第7期地域審議会について ・ 第3次総合計画基本構想(案)について【諮問】 	シンフォニアテクノロジー響ホール 伊勢4階大会議室
30. 5. 15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 答申 	—

7 宮川流域連携

宮川流域ルネッサンス協議会 (平成12年6月9日設立: 流域1市6町 (伊勢市、多気町、大台町、玉城町、大紀町、度会町、明和町)、三重県、国関係機関、宮川流域案内人の会で構成) に加入し、宮川の清流と地域風土にあった環境を守り、次世代に引き継ぐことに寄与する活動に取り組んでいる。

【活動状況】

- ・ 宮川流域子ども川サミット (対象者: 宮川流域7市町の小学校5～6年生)
 開催日: 平成30年7月29日 (日) 場所: 大台町 ※台風により中止
- ・ 宮川流域で植樹をしよう!
 実施日: 平成30年12月9日 (日) 場所: 大台町
- ・ 宮川流域ルネッサンス協議会次期事業方針及び事業概要説明会&講演会
 開催日: 平成31年3月3日 (日)・10日 (日) 場所: (3日) 大台町、(10日) 伊勢市
- ・ 水質チェックの実施
 実施日: 平成30年5月～平成31年2月の最終日曜日 場所: 宮川流域23か所

8 総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、総合教育会議において、教育を行うための諸条件の整備その他地域の実情に応じた教育等の振興を図るため、重点施策等について協議・調整を行った。

【伊勢市総合教育会議】

- (1) 構成 市長及び教育委員会
 (2) 開催状況

開催日	内 容	場 所
30. 12. 20	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成31年度教育施策及び予算について ・ 児童、生徒のスマートフォン等の適正利用について 	小俣公民館 2階学習室

9 広告事業

本市が所有する様々な資産を、民間企業の広告出稿等によって積極的に有効活用し、新たな財源の確保及び事業経費の削減などを図るため、広告掲載事業を行った。

- ・実施媒体：広報いせ、ホームページバナー、庁舎案内板、広告入り窓口封筒、納税通知書用封筒、じん芥収集車（ラッピング広告）、ごみカレンダー、雑誌スポンサー、倉田山公園野球場（ベンチ上壁面・外野グラウンドフェンス）、伊勢フットボールヴィレッジ 広告看板
- ・収入金額：9,490,400 円

10 行財政改革推進事業

（1）行財政改革指針取組項目の総括

平成26年度に策定した行財政改革指針に基づく取組項目（取組期間：平成26年度～平成29年度）の実施結果を取りまとめ、指針の総括を行った。

（2）行財政改革プランの策定

行財政改革指針を踏襲し、行政サービスの生産性の向上や市民満足度の向上を目指し、時代にふさわしい行財政運営を行うことを目的として行財政改革プランを平成30年6月に策定した。

行財政改革プランの取組として、全ての事務事業（1,469事業）に改めて行財政改革の目を入れるため、事務事業のたな卸しを行った。取組対象のうち、進捗管理シートにより管理を行う行財政改革プランに基づく取組項目として52事業を設定し、取組を進めた。

（3）行政改革推進委員会

学識経験者など6名の委員で構成する行政改革推進委員会を3回開催し、審議を行った。

・開催状況

開催日	内 容	場 所
【第1回】 30. 4. 19	・事務事業たな卸しチェックシートについて	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4階小会議室1
【第2回】 30. 5. 7	・事務事業たな卸しチェックシート(案)について ・行財政改革指針に基づく取組項目の平成29年度 実施結果及び総括について ・伊勢市行財政改革プラン(案)について	市役所本庁舎 東館4-2会議室
【第3回】 30. 10. 10	・事務事業たな卸しの結果について ・行財政改革プランに基づく取組の進捗管理について	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4階小会議室1

（4）市民サービス向上のための窓口業務等の改善

庁内に設置した窓口業務等検討会において、庁舎改修後の市役所本館案内表示等について、検証を行った。

11 公共施設マネジメント事業

(1) 施設類型別計画の策定

公共施設及びインフラ資産における各施設の今後の管理方針を示す施設類型別計画について、パブリックコメント（6/20～7/20 意見5件）を実施し、計画を策定した。

- ・ 策定期間 平成 30 年 9 月
- ・ 発行部数 冊子 1,000 部 【印刷費用 690,120 円】
- ・ 配布先 主要施設、自治会、まちづくり協議会等

(2) 公共施設等総合管理計画の改訂

公共施設等総合管理計画（H28.3 策定）を平成 30 年 9 月に改訂し、施設の更新、統合、廃止等に係る実施方針に「ユニバーサルデザイン化の推進方針」を追加した。

(3) 公共施設等マネジメント推進会議

公共施設等総合管理計画に基づき、全庁横断的な体制のもと公共施設等の総合的かつ計画的な管理を継続するため設置する公共施設等マネジメント推進会議において、全庁的な協議・調整を行い取組を進めた。

・ 開催状況

開催日	内 容
【第 1 回】 30. 6. 13	・ 二見地区統合園の建設地について
【第 2 回】 30. 8. 10	・ 施設類型別計画（案）に係るパブリックコメントの実施結果について ・ 公共施設等総合管理計画の改訂について ・ 公共施設マネジメントの今後の進め方について
【第 3 回】 30. 10. 17	・ 二見浦海水浴場の施設の集約及び今後の活用について
【第 4 回】 30. 11. 27	・ 伊勢廃棄物投機場を駐車場利用することについて
【第 5 回】 30. 12. 20	・ 日中一時支援「フレンズ」の移転先の変更について

(4) 公共施設カルテ及びインフラ資産カルテの更新

本市が保有する公共施設及びインフラ資産の管理情報等を整理した「公共施設カルテ」及び「インフラ資産カルテ」を更新し、市ホームページへの掲載及び本庁舎、各総合支所へ設置した。

(5) 広報いせによる周知

公共施設マネジメントを推進するため、施設類型別計画の内容や必要性について、市民の理解を得られるよう、12/1 号において施設類型別計画の策定を周知した。

財 政 課

1 歳入歳出予算

本年度における一般会計及び各特別会計の予算額及び議決の状況は、次のとおりであった。

(単位：千円)

区 分	当初予算額 30. 3. 26 議決	補 正 予 算 額		
		30. 7. 11 議 決	30. 10. 10 議 決	30. 10. 10 議 決
一 般 会 計	54,973,542	①161,875	②315,483	③91,973
特 別 会 計	国民健康保険	13,010,136		
	後期高齢者医療	3,020,118		
	介 護 保 険	13,489,968		①267,410
	住宅新築資金等 貸 付 事 業	5,495		
	観 光 交 通 対 策	706,459		
	土 地 取 得	1,316,082		
	計	31,548,258		267,410
合 計	86,521,800	161,875	582,893	91,973

補 正 予 算 額			継続費 逡 次 繰越額	繰 越 明許費 繰越額	予算総額
30. 12. 19 議 決	31. 3. 25 議 決	31. 3. 25 議 決			
④854,341	⑤△1,139,856	⑥270,072	820,992	1,859,435	58,207,857
①145,202	②△219,012				12,936,326
①△3,677	②44,329				3,060,770
②7,378	③△130,232				13,634,524
	①487				5,982
	①△91,101				615,358
	①△1,058,349				257,733
148,903	△1,453,878				30,510,693
1,003,244	△2,593,734	270,072	820,992	1,859,435	88,718,550

※○内の数字は、補正の回数を表す。

2 地方交付税

本年度における地方交付税の状況は、次のとおりであった。

(1) 普通交付税 9,645,028 千円

(合併算定替)

・基準財政需要額	24,020,004 千円
・基準財政収入額	14,374,976 千円
・交付基準額	9,645,028 千円
・交付決定額	9,645,028 千円

(2) 特別交付税 904,868 千円

3 市債の状況

一般会計及び住宅新築資金等貸付事業特別会計における市債の借入れの状況は、次のとおりであった。

(1) 年度末現在高

会 計 名	平成 30 年度末現在
一 般 会 計	57,570,095 千円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	3,901
計	57,573,996

(2) 借入状況 (一般会計)

事 業 名	借 入 額	借 入 年月日	借 入 先	借入 利率	備考
市 町 村 合 併 特 例 事 業 債	千円 38,100	31. 3. 25	市有物件災害共済	% 0.01	
	259,800	31. 3. 29	市町村職員共済組 合	0.01	
	343,500	31. 4. 22	市町村振興協会	0.20	
	1,496,400	01. 5. 30	地方公共団体金融機構	0.40	前借
	614,700	01. 5. 30	株式会社百五銀行	0.24	
	476,500	01. 5. 30	〃	0.34	
	320,100	01. 5. 30	〃	0.24	前借
	271,400	01. 5. 30	〃	0.24	借換
	951,700	01. 5. 30	〃	0.34	借換
こども発達支援施設整備事業債	7,200	01. 5. 30	地方公共団体金融機構	0.20	前借

事業名	借入額	借入年月日	借入先	借入利率	備考
水道事業出資債	千円 12,800	31. 3.28	地方公共団体金融機構	% 0.01	借換
土地改良事業債	81,100	31. 3.25	財務省	0.04	借換
	1,100	01. 5.17	〃	0.06	前借
	11,100	01. 5.17	〃	0.06	
	22,300	01. 5.30	株式会社百五銀行	0.24	
農道・農業用排水路整備事業債	31,900	01. 5.30	地方公共団体金融機構	0.04	
漁港整備事業債	5,300	31. 3.25	財務省	0.04	借換
	10,300	01. 5.17	〃	0.20	前借
地方道路等整備事業債	41,600	01. 5.30	地方公共団体金融機構	0.20	
自然災害防止事業債	58,000	31. 3.25	市有物件災害共済	0.01	
	4,300	01. 5.30	株式会社百五銀行	0.24	
河川等整備事業債	48,700	01. 5.30	地方公共団体金融機構	0.20	
港湾改修事業債	2,600	01. 5.17	財務省	0.004	
街路整備事業債	9,000	31. 3.25	〃	0.04	借換
	9,300	01. 5.17	〃	0.06	前借
公営住宅整備事業債	8,300	01. 5.30	地方公共団体金融機構	0.04	
防災対策事業債	11,300	01. 5.30	〃	0.002	
緊急防災・減災事業債	2,500	01. 5.30	〃	0.002	
	8,700	01. 5.30	〃	0.003	前借
	70,000	01. 5.30	〃	0.30	前借
	19,400	01. 5.30	〃	0.04	前借
学校教育施設等整備事業債	176,900	31. 3.25	財務省	0.3	借換
	20,300	01. 5.17	〃	0.004	
	1,614,000	01. 5.17	〃	0.3	
	169,000	01. 5.30	株式会社百五銀行	0.34	借換
臨時財政対策債	1,948,000	01. 5.17	財務省	0.007	
災害復旧事業債	3,800	31. 3.25	〃	0.01	借換
	12,600	31. 3.25	〃	0.01	借換
	22,400	31. 3.25	〃	0.01	借換
	10,700	01. 5.17	〃	0.004	前借
計	9,226,700				

4 一般会計決算の状況

(1) 歳入歳出決算額と前年度との比較

ア 歳入

区分	年度 決算	平成30年度		平成29年度		比較	
		決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C) / (B)
1	市 税	千円 16,931,005	% 30.2	千円 16,803,632	% 33.0	千円 127,373	% 0.8
(1)	普通 税	15,529,446	27.7	15,349,509	30.1	179,937	1.2
(2)	目的 税	1,401,559	2.5	1,454,123	2.9	△ 52,564	△ 3.6
2	地方譲与税	337,211	0.6	333,892	0.7	3,319	1.0
3	利子割交付金	38,347	0.1	39,437	0.1	△ 1,090	△ 2.8
4	配当割交付金	77,187	0.1	98,598	0.2	△ 21,411	△ 21.7
5	株式等譲渡 所得割交付金	61,921	0.1	97,674	0.2	△ 35,753	△ 36.6
6	地方消費税金 交付金	2,378,097	4.3	2,225,413	4.4	152,684	6.9
7	ゴルフ場 利用税交付金	15,360	0.0	16,423	0.0	△ 1,063	△ 6.5
8	自動車取得税 交付金	128,158	0.2	121,293	0.2	6,865	5.7
9	国有提供施設 等所在市町村 助成交付金	79,520	0.1	82,334	0.2	△ 2,814	△ 3.4
10	地方特例 交付金	86,266	0.2	73,897	0.1	12,369	16.7
11	地方交付税	10,549,896	18.8	10,722,941	21.0	△ 173,045	△ 1.6
(1)	普通交付税	9,645,028	17.2	9,754,585	19.1	△ 109,557	△ 1.1
(2)	特別交付税	904,868	1.6	968,356	1.9	△ 63,488	△ 6.6
12	交通安全対策 特別交付金	13,654	0.0	15,630	0.0	△ 1,976	△ 12.6
13	分担金及び 負担金	887,736	1.6	876,157	1.7	11,579	1.3
14	使用料及び 手数料	361,955	0.7	361,745	0.7	210	0.1
15	国庫支出金	7,236,544	12.9	6,391,961	12.5	844,583	13.2
16	県支出金	3,226,900	5.8	3,313,911	6.5	△ 87,011	△ 2.6
17	財産収入	53,556	0.1	241,039	0.5	△ 187,483	△ 77.8
18	寄附金	100,010	0.2	74,742	0.1	25,268	33.8
19	繰入金	2,718,894	4.9	55,286	0.1	2,663,608	4817.9
20	繰越金	691,083	1.2	600,066	1.2	91,017	15.2
21	諸収入	790,040	1.4	2,270,618	4.5	△ 1,480,578	△ 65.2
22	市債	9,226,700	16.5	6,184,000	12.1	3,042,700	49.2
	歳入合計	55,990,040	100.0	51,000,689	100.0	4,989,351	9.8

イ 歳出（目的別）

区分	平成 30 年度		平成 29 年度		比 較	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C) / (B)
1 議会費	千円 326,606	% 0.6	千円 339,032	% 0.7	千円 △ 12,426	% △ 3.7
2 総務費	5,662,783	10.2	5,430,800	10.8	231,983	4.3
3 民生費	18,790,138	34.0	18,827,897	37.6	△ 37,759	△ 0.2
4 衛生費	7,256,662	13.1	5,992,722	12.0	1,263,940	21.1
5 労働費	56,965	0.1	54,933	0.1	2,032	3.7
6 農林水産業費	858,464	1.6	961,789	1.9	△ 103,325	△ 10.7
7 商工費	377,875	0.7	380,658	0.8	△ 2,783	△ 0.7
8 観光費	687,522	1.2	600,307	1.2	87,215	14.5
9 土木費	5,116,506	9.2	4,562,877	9.1	553,629	12.1
10 消防費	2,542,506	4.6	2,573,784	5.1	△ 31,278	△ 1.2
11 教育費	7,684,384	13.9	4,710,958	9.4	2,973,426	63.1
12 災害復旧費	353,046	0.6	151,757	0.3	201,289	132.6
13 公債費	5,618,634	10.2	5,492,092	11.0	126,542	2.3
14 諸支出金	0	0.0	0	0.0	0	—
歳出合計	55,332,091	100.0	50,079,606	100.0	5,252,485	10.5

ウ 歳出（性質別）

区分	平成 30 年度		平成 29 年度		比 較	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C) / (B)
1 人 件 費	千円 8,036,751	% 14.5	千円 7,814,136	% 15.6	千円 222,615	% 2.8
2 物 件 費	7,472,912	13.5	7,355,851	14.7	117,061	1.6
3 維持補修費	396,790	0.7	359,560	0.7	37,230	10.4
4 扶 助 費	10,957,171	19.8	11,047,503	22.1	△ 90,332	△ 0.8
5 補 助 費 等	3,647,441	6.6	3,345,314	6.7	302,127	9.0
6 普 通 建 設 費 事 業 費	8,806,925	15.9	4,385,472	8.7	4,421,453	100.8
(1) 補助事業費	2,919,620	5.3	1,252,824	2.5	1,666,796	133.0
(2) 単独事業費	5,748,401	10.4	3,029,779	6.0	2,718,622	89.7
(3) 事業負担金	138,904	0.2	102,869	0.2	36,035	35.0
7 災 害 復 旧 費 事 業 費	289,306	0.5	153,792	0.3	135,514	88.1
(1) 補助事業費	195,253	0.3	38,138	0.1	157,115	412.0
(2) 単独事業費	94,053	0.2	115,654	0.2	△ 21,601	△ 18.7
8 失 業 対 策 費 事 業 費	0	0.0	0	0	0	—
(1) 補助事業費	0	0.0	0	0	0	—
(2) 単独事業費	0	0.0	0	0	0	—
9 貸 付 金	2,070	0.0	2,130	0.0	△ 60	△ 2.8
10 公 債 費	5,618,634	10.2	5,492,092	11.0	126,542	2.3
11 投 資 及 び 出 資 金	2,119,200	3.9	1,700,900	3.4	418,300	24.6
12 積 立 金	65,334	0.1	928,035	1.8	△ 862,701	△ 93.0
13 繰 出 金	7,919,557	14.3	7,494,821	15.0	424,736	5.7
歳 出 合 計	55,332,091	100.0	50,079,606	100.0	5,252,485	10.5

エ 一般会計決算の市民1人当たりの額

(平成31年3月31日現在人口 126,060人)

歳 入			歳 出		
区 分	決 算 額	市民1人 当たりの額	区 分	決 算 額	市民1人 当たりの額
	千円	円		千円	円
市 税	16,931,005	134,309	消 費 的 経 費	30,511,065	242,036
地 方 譲 与 税	337,211	2,675	人 件 費	8,036,751	63,753
利 子 割 交 付 金	38,347	304	物 件 費	7,472,912	59,281
配 当 割 交 付 金	77,187	612	維 持 補 修 費	396,790	3,148
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	61,921	491	扶 助 費	10,957,171	86,920
地 方 消 費 税 交 付 金	2,378,097	18,865	補 助 費 等	3,647,441	28,934
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	15,360	122	投 資 的 経 費	9,096,231	72,159
自 動 車 取 得 税 交 付 金	128,158	1,017	普 通 建 設 事 業 費	8,806,925	69,864
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	79,520	631	災 害 復 旧 事 業 費	289,306	2,295
地 方 特 例 交 付 金	86,266	684	失 業 対 策 事 業 費	0	0
地 方 交 付 税	10,549,896	83,690	そ の 他 の 経 費	15,724,795	124,740
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	13,654	108	貸 付 金	2,070	16
分 担 金 及 び 負 担 金	887,736	7,042	公 債 費	5,618,634	44,571
使 用 料 及 び 手 数 料	361,955	2,871	投 資 及 び 出 資 金	2,119,200	16,811
国 庫 支 出 金	7,236,544	57,406	積 立 金	65,334	518
県 支 出 金	3,226,900	25,598	繰 出 金	7,919,557	62,824
財 産 収 入	53,556	425			
寄 附 金	100,010	794			
繰 入 金	2,718,894	21,568			
繰 越 金	691,083	5,482			
諸 収 入	790,040	6,267			
市 債	9,226,700	73,193			
歳 入 合 計	55,990,040	444,154	歳 出 合 計	55,332,091	438,935

5 基金の決算状況

条例に定める基金の設置目的に従い、基金に属する現金等の適正な管理を行った。

種 類	区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現在高
財 政 調 整 基 金	現 金	千円 14,917,809	千円 △2,044,059	千円 12,873,750
減 債 基 金	現 金	1,163,548	837	1,164,385
ふ る さ と 創 生 基 金	現 金	1,628,084	△92,793	1,535,291
国 際 交 流 基 金	現 金	60,003	△3	60,000
庁 舎 整 備 基 金	現 金	10,565	1	10,566
職 員 退 職 手 当 基 金	現 金	441,445	1,513	442,958
月 僱 金 復 興 社 会 事 業 基 金	現 金	7,992	1	7,993
地 域 福 祉 基 金	現 金	415,202	△28,851	386,351
災 害 援 護 基 金	現 金	106,809	238	107,047
中 山 間 ふ る さ と ・ 水 と 土 保 全 対 策 基 金	現 金	47,497	5	47,502
河 川 環 境 基 金	現 金	10,184	1	10,185
育 英 基 金	現 金	72,796	5,498	78,294
文 化 振 興 基 金	現 金	179,362	335	179,697
地 域 振 興 基 金	現 金	3,441,539	△226,678	3,214,861
景 観 形 成 基 金	現 金	435,417	550	435,967
森 林 づ く り 基 金	現 金	15,223	△15,223	0
民 俗 伝 統 行 事 継 承 基 金	現 金	119,033	21,239	140,272
計	現 金	23,072,508	△2,377,389	20,695,119

広 報 広 聴 課

○ 広報いせ発行业

「広報いせ」を毎月1日と15日（1月を除く）に発行し、市政方針や事業計画・各種制度の概要、行事予定、市民活動情報などを広く市民に広報し、理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。また、「広報いせ」への広告掲載を実施し、財源の確保に努めた。

（広告掲載件数：253件、収入金額：3,730,000円）

発行号	頁数	発行部数	主 な 記 事
4月15日号	16	53,840	伊勢市のマンホールカードができました！、伊勢市立地適正化計画に係る届出制度が開始、やってみよう！いせし健康体操
5月1日号	40	53,860	特集 平成30年度施政方針と当初予算、いせ健幸ポイント3期生参加者を募集、「産婦健康診査」と「1か月児健康診査」を公費負担により実施します！、消防・防災フェスタいせ、5月12日は「民生委員・児童委員の日」
5月15日号	20	53,850	第102回高柳の夜店、皆さんの地域に自主防犯組織を結成して防犯活動をしてみませんか！、まちの計画を策定しました、第62回伊勢市民芸能祭 出演団体を募集します
6月1日号	36	53,900	特集 もうすぐインターハイ私たちが支える、伊勢まつり 参加団体を募集！、ママ安心サポートいせ、出水期に備えて早めの対策を！、生活に関する困り事は相談を 生活困窮者自立支援・生活保護、「水道」について考えてみませんか
6月15日号	20	53,780	健康文化週間の健康づくりイベント、伊勢市健康医療ダイヤル24、第23回勢田川七夕大そうじ、市営プールがオープンします、男女共同参画週間、女性限定1DAYインターンシップを開催（伊勢市消防本部）
7月1日号	36	53,800	特集 地域包括ケアシステム、国民健康保険・後期高齢者医療保険のお知らせ、地籍調査にご協力を、伊勢志摩ナンバーデザイン案を大募集！、別冊 花火特集
7月15日号	24	53,770	企画展 お祭り備忘録～はぐくまれてきた伊勢の文化～、夏休み親子施設見学会、子どもが生き生き輝く夏休みに！、米国西海岸都市で伊勢の魅力を発信！、いせファミリー・サポート・センター、いよいよ始まるインターハイ！伊勢で決まる高校日本一2018 彩る感動 東海総体

	頁	部	
8月 1日号	36	53,860	伊勢志摩ナンバー導入決定記念市町合同特集、野口みずき杯2018中日三重 お伊勢さんマラソン、9月1日から障害者・一人親家庭等・こども・寡婦福祉医療費受給資格証が更新されます、9月1日から福祉医療費の窓口負担の無料化が始まります！、空家対策の補助制度を新設しました、インターハイ熱戦開幕！8月市内開催競技を紹介！、市役所本館改修工事が完了しました
8月15日号	16	53,770	救急・災害を考える集い、小・中学生対象の講習 救命入門コース、第66回伊勢神宮奉納全国花火大会の受賞者
9月 1日号	36	53,790	特集 認知症を考える、「自助」「共助」で災害に備えよう、第3次伊勢市総合計画基本構想・前期基本計画を策定、伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置の進捗状況をお知らせします、本庁舎での業務を開始しました、概要版 認知症あんしんガイドブック[保存]
9月15日号	20	53,760	インターハイ 伊勢市開催競技 全日程終了、動物愛護週間、第66回 J A B A伊勢・松阪大会、障害者差別解消法
10月 1日号	32	53,770	特集 薫る秋まつりで奉祝、環境フェア&2018福祉フェスティバル、放課後児童クラブの利用児童を募集、伊勢市民芸能祭、里親制度を知っていますか、別冊 伊勢まつり
10月15日号	24	53,770	伊勢病院ふれあいまつり、広島平和記念式典～参加中学生22人の思い～、障がい者・高齢者虐待啓発、伊勢市美術展覧会
11月 1日号	36	53,800	特集 本が教えてくれる新たな世界、新伊勢総合病院が完成、コンビニへコミュニケーション支援ボードを設置していきます
11月15日号	20	53,780	もったいないフェア2018、野口みずき杯2018中日三重お伊勢さんマラソン
12月 1日号	32	53,830	特集 野菜を食べよう！、まちの計画に対する意見を募集します、市の人事行政の運営状況を公表
12月15日号	16	53,800	市内循環バスの社会実験運行を実施します、インフルエンザ予防のススメ、年末年始の業務案内
1月 1日号	32	53,850	特集 新市立伊勢総合病院開院、新年のごあいさつ、市内循環バスの社会実験運行を開始、市勢の発展に尽力された功労者を表彰
2月 1日号	36	53,900	特集 赤ちゃんの笑顔あふれるまちを目指して、一時保育の申し込み方法が変わります、第12回美し国三重 市町対抗駅伝
2月15日号	16	53,840	伊勢市国際交流フェスティバル、伊勢マイルが2月16日（土）から始まります、祝・成人式特集（裏表紙）

3月 1日号	頁 28	部 53,900	特集3.11平成最大の震災から学ぶ、閉校式・開校式のご案内、病児保育エンゼルのご利用を
3月15日号	20	53,900	市内の桜の名所紹介、伊勢市開催競技が正式決定！三重とこわか国体・三重とこわか大会
4月 1日号	36	55,200	特集 市内循環バスで伊勢の旅、発達障害啓発週間、より豊かな生活に向けて 補助金などで応援

○ CATV広報いせ放送事業

行政情報番組 [お知らせ番組 (毎週更新) と特集番組 (毎月更新)] を制作し放送した。特集番組は、タレントをリポーターとして起用し、分かりやすい番組づくりに努め、YouTubeへの掲載も行った。

・特集番組 (毎月1日更新)

放送回数 1日8回 (午前6時・8時・11時・午後1時・4時・6時・9時・11時)

月	タイトル	内容
4	平成30年度の主な事業の紹介	市長が平成30年度の事業について語る
5	歩く！貯める！交換できる!! 「いせ健幸ポイント」～3期生参加者募集のお知らせ～	「いせ健幸ポイント」の紹介と新規参加者募集を案内
6	手話をおぼえてみよう	あいさつ、感謝、自己紹介などの簡単な手話を紹介
7	お祭り備忘録～はぐくまれてきた伊勢の文化～	民俗芸能披露行事の開催を案内
8	岡っ引きの“やす”伊勢市オープンデータライブラリを使ってみるノ巻	宇治山田商業高校の取り組みなど、伊勢市オープンデータライブラリの活用事例を紹介
9	本庁舎本館改修工事完了のご案内	改修における主な取り組みと改修後の館内を案内
10	伊勢の地から世界へ羽ばたけ高校生!!～完全燃焼～インターハイ伊勢市開催の記録	平成30年7月26日から8月12日まで伊勢市内で行われたインターハイの記録
11	読書の秋～市立図書館・子どもの読書推進活動～	市立図書館で行っている子ども読書推進活動を紹介
12	ふるさと未来づくり～まちづくり協議会の取り組み～	まちづくり協議会の活動紹介 (北浜まちづくり会議、二見まちづくりの会)
1	新しい市立伊勢総合病院が開院	平成31年1月4日開院、開院直前の市立伊勢総合病院を紹介
2	障がい者サポーター制度	障がい者サポーター制度の紹介など
3	文明開化と伊勢のまち	伊勢のまちに残る近代建築物や公共交通の歴史を紹介

・お知らせ番組 (毎週土曜日更新)

放送回数 1日8回 (午前7時・9時・正午・午後2時・5時・7時・10時・翌日午前0時)

月	内 容
4	お知らせ (春期の交通対策 など) まちの話題
5	お知らせ (伊勢総合病院職員募集 など) まちの話題
6	お知らせ (合併処理浄化槽への切り換えのお願い など) まちの話題
7	お知らせ (花火大会について など) まちの話題
8	お知らせ (福祉医療費受給資格証の更新について など) まちの話題
9	お知らせ (秋の全国交通安全運動 など) まちの話題
10	お知らせ (伊勢まつり など) まちの話題
11	お知らせ (市民芸能祭 など) まちの話題
12	お知らせ (宴会五か条 など) まちの話題
1	お知らせ (市・県民税の申告と所得税の確定申告 など) まちの話題
2	お知らせ (いせし健康体操 など) まちの話題
3	お知らせ (住所変更の手続き など) まちの話題

○ インターネット情報発信事業

伊勢市ホームページ

各所属からの情報をいち早く掲載するとともに、利便性の向上およびウェブアクセシビリティに準拠したホームページとなるよう努め、職員向けにアクセシビリティと操作方法の研修を行った。また、ホームページに声の広報掲載を開始した。

- ・ページ数…4,864件 (平成31年3月31日現在)
- ・トップページ(ホーム/伊勢市)ビュー数
(平成30年4月1日～平成31年3月31日) …1,196,401件
- ・広告件数
7事業所・55件・555,000円
- ・アクセシビリティ研修の開催

日時 平成30年11月28日(水) 21部署29名出席

広報いせFacebook・Twitter

市政の情報発信補完として、平成29年1月4日から「広報いせFacebook」「広報いせTwitter」を運用している(※TwitterはFacebookからの連携掲載)。

(平成30年4月1日～平成31年3月31日期間中の投稿・閲覧状況)

- ・広報いせFacebook投稿数… 231件
- ・広報いせFacebook閲覧数… 119,033件
- ・広報いせTwitter投稿数… 231件
- ・広報いせTwitter閲覧数… 179,135件

○ 市民相談の実施

毎月、市役所広報広聴課相談室において、法律・行政・人権・登記・交通事故・公証の市民相談を実施し、相談事の解決に努めた。

また、毎月、二見生涯学習センター、小俣公民館において行政相談を実施した。

相談名	実施日	相談担当者
法律	毎週月曜日 午後1時30分～3時30分（先着8名）	弁護士 5名
行政	毎月第2火曜日 午後1時～ （二見生涯学習センター） 毎月第3火曜日 午後1時～ （広報広聴課相談室） 毎月第4火曜日 午後1時～ （小俣公民館）	行政相談委員 5名
人権	毎月第2木曜日 午後1時～	人権擁護委員 17名
登記	毎月第2火曜日 午後1時～（先着6名）	県司法書士会伊勢支部会員 12名
交通事故	毎月第3水曜日 午後1時～（先着4名）	NPO法人交通事故被害者支援センター相談員 1名
公証	毎月第1木曜日 午後1時～	公証人 1名

項目	区分						
	法律相談	行政相談	人権相談	登記相談	交通事故相談	公証相談	計
登記	13件	0件	0件	27件	0件	2件	42件
家庭	57	0	0	0	0	1	58
相続	85	0	0	19	0	12	116
金銭	62	1	0	1	0	0	64
土地	40	0	0	2	0	0	42
福祉	1	1	0	0	0	0	2
交通事故	3	0	0	0	15	0	18
その他	128	3	1	1	0	0	133
計	389	5	1	50	15	15	475

○ 報道機関への情報提供

報道機関との連絡を密にするため、月1回（8月を除く）市長の定例記者会見を実施した。
また、適宜市政の情報を提供し、広報活動の充実に努めた。

○ 情報提供のガイドライン

市民と市との行政情報の共有を一層進めるため、「情報提供のガイドライン」に基づき、市民が知りたいであろう行政情報や、市が市民に知ってほしい情報、市民が入手することにより官民協働のまちづくりが期待できる情報などを市のホームページで提供している。

- ・ガイドラインに基づき提供している行政情報

市の基本計画、パブリック・コメントの状況、主要事業の概要、市長記者会見資料、市議

会提出案件に関する資料、審議会・委員会などの資料、市の財政状況や予算・決算に関する資料、人事・給与に関する資料、イベント情報など15項目

・ガイドラインに基づく提供情報件数（平成31年3月31日現在）…2,335件

○ 市民の声システム・市政への提案箱

市民ニーズや意見・要望等を把握し、政策立案に結びつけられるようにするため、市民の声登録システムを有効活用し、また、市政への提案箱でも意見を集約した。

（市政への提案箱設置場所）

本庁舎、各総合支所、各支所、いせトピア、福祉健康センター

担当部局	件数	受付方法	
		市政への提案箱	ホームページ「市民の声」
総務部	13件	6件	7件
危機管理部	20	3	17
情報戦略局	25	15	10
環境生活部	33	12	21
健康福祉部	23	12	11
産業観光部	11	1	10
都市整備部	49	16	33
検査室	0	0	0
会計課	0	0	0
二見総合支所	0	0	0
小俣総合支所	0	0	0
御菌総合支所	0	0	0
上下水道部	5	2	3
教育委員会	28	6	22
議会事務局	3	1	2
選挙管理委員会事務局	0	0	0
監査委員事務局	0	0	0
農業委員会事務局	0	0	0
伊勢総合病院	7	1	6
消防本部	3	0	3
計	220	75	145
市民の声対象外	2	0	2